

デジタル分野などの社員教育に 人材開発支援助成金をご活用ください

国民の皆さまのアイデアをもとに「人への投資促進コース」を創設

「人への投資促進コース」の助成メニュー


新設！

サブスクリプション

オンラインの定額受け放題サービスで効率的に訓練を受けさせたい

定額受け放題研修サービス(定額制サービス)とは

法人単位等での定額制サービスと契約し、同額で複数の訓練を受けられるeラーニングで実施されるサービスのことをいいます。

 eラーニングとは、コンピュータ等を活用した遠隔講習であって、訓練の受講管理のためのシステム(Learning Management System.「LMS」)により、受講者及び事業主さんとの双方で訓練の進捗管理が行えるものをいいます。

活用例は裏面へ

IT分野未経験

ITやデジタル分野で即戦力となる人材を育成したい

情報技術分野(IT分野) 認定実習併用職業訓練【新設】

IT分野未経験者を即戦力化するための訓練を実施する事業主への高率助成。

デジタル/成長分野

高度デジタル人材・高度人材を育成したい

高度デジタル人材訓練/成長分野等人材訓練【新設】

高度デジタル人材を育成するための訓練や、大学院での高度な訓練を行う事業主への高率助成。

自発的能力開発

労働者の自発的な学び直しの費用を支援したい

自発的職業能力開発訓練【新設】

労働者が自発的に受講した訓練費用を負担する事業主への助成。

教育訓練休暇

労働者の自発的な学び直しのための時間を確保したい

長期教育訓練休暇制度/短時間勤務等制度【拡充】

働きながら訓練を受講するための休暇制度や短時間勤務等制度を導入する事業主への助成。

- ・「人への投資促進コース」の他にも、訓練対象者(正規雇用労働者や非正規雇用労働者)にあわせて、助成メニューをご用意しています。
- ・すべての訓練コースでオンライン(eラーニング)による訓練も対象としています。
- ・詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。お近くの労働局へお問い合わせください。

人材開発支援助成金 検索



https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

「人への投資促進コース」の活用例

サブスクリプション型の研修サービスで訓練を行った場合

課題

様々なコンテンツの中から、従業員1人ひとりに合った職務に必要な訓練を行い、知識を深めてほしい！



事業主

定額制訓練による訓練実施計画を立てましょう。
※計画届を提出するより前に開始された訓練は対象となりません。

訓練

- 訓練コース **営業職研修受け放題講座** (40名)
- 訓練内容
新入社員から管理職までの幅広い層に対応した
営業職に関するeラーニング訓練。
- 訓練経費 : **42万円**
(1名~50名まで1か月3.5万円×12月の料金)

助成金を活用

助成内容 (中小企業の場合) ・ 成果

- 助成率・額
経費助成：45%
- 助成額 (左記の訓練内容の場合の例)
経費助成：189,000円
- 成果
1つの訓練契約で幅広い層に訓練を行うことができ、
企業全体の生産性向上に繋がった。



IT分野未経験者にIT関連の訓練を行った場合

資格試験料も助成の対象です！

課題

IT未経験の従業員にも、ITの内容を覚えてもらい、**即戦力として働いてほしい！**

訓練実施計画を立て、事前に厚生労働大臣の認定を受ける必要があります。



事業主

訓練

- 訓練コース **プログラミング** (1名)
- 訓練内容
スマート端末上の開発に必要なプログラミング言語の習得等、OJTで実際に発注を受けたシステムの構築。
OFF-JT時間：800時間 訓練経費：**70万円**
OJT時間：200時間
- ITSSレベル2に相当する資格試験の受験
訓練経費：**5万円**

助成金を活用

助成内容 (中小企業の場合) ・ 成果

- 助成率・額
経費助成：60%
賃金助成：1時間あたり760円
OJT実施助成：200,000円
- 助成額 (左記の訓練内容の場合の例)
経費助成：450,000円 (資格試験料を含む)
賃金助成：608,000円
OJT実施助成：200,000円
- 成果
IT未経験者にも、基本的な言語の習得や、実際に顧客から発注を受けたシステムの構築を、自社の従業員から丁寧にレクチャー。
未経験者から一人前のSEに成長させることができた。
高額で手が出せない資格も、助成金があることで、取得させることができた。



高度なデジタル分野の訓練を行った場合

他のコースより高い助成率・助成額で支援します！

課題

高度なデジタル分野の資格を取ってもらい、**核となる人材として働いてほしい！**



事業主

訓練

- 訓練コース **プロジェクトマネージャ試験対策講座** (1名)
- 訓練内容
プロジェクトマネージャ試験対策のための訓練。
訓練時間：30時間 訓練経費：**20万円**
- ITSSレベル4に相当する資格試験の受験
訓練経費：**8万円**

助成金を活用

助成内容 (中小企業の場合) ・ 成果

- 助成率・額
経費助成：75%
賃金助成：1時間あたり960円
- 助成額 (左記の訓練内容の場合の例)
経費助成：210,000円 (資格試験料を含む)
賃金助成：28,800円
- 成果
資格を取得して専門的な知識を身につけることで、
管理職として活躍してもらうことができた。
高度な資格を保持していることが会社の**アピールポイント**にもなっている。

